

## 第1章 目的

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授けるとともに、深く専門の知識と技能を授け、人格の陶冶を図り、文化の創造発展と公共福祉の増進に貢献し得る人物を育成することを目的とする。

第1条の2 本学は学校教育法に基づき、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行いその結果を公表する。

2 前項に関する事項は、北陸大学自己点検・評価規程に定める。

## 第2章 組織

(組織)

第2条 本学に次の学部、学科を置き、その定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	60人		360人
経済経営学部	マネジメント学科	110人	3年次10人	460人
	経済学科	140人	3年次10人	580人
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	60人	3年次10人	260人
	心理社会学科	60人		240人
医療保健学部	医療技術学科	60人		240人
	理学療法学科	60人		240人

2 本学に、留学生別科を置く。

(1) 留学生別科の次のコースを置き、入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

予備教育コース	80人
協定校交流等コース	70人

(2) 留学生別科に関し必要な事項は、北陸大学留学生別科規程に定める

(養成する人材)

第2条の2 前条の学部、学科の人材養成の目的は、次のとおりとする。

(1) 薬学部 薬学科

医療人としての倫理観、使命感、責任感及び高度な薬学の知識・技能を身につけ、臨床の現場で実践的な能力を発揮できる薬剤師を養成する。

(2) 経済経営学部

広い知識と視野を持ち、他者と協働して課題を発見し解決することを通じて、健康な社会及び健全な組織の実現に貢献できる人材を養成する。

・マネジメント学科

マネジメント5分野(経営学、会計学、情報学、法学、経済学)の知識と技能を備え、社会・組織・自己における諸課題を多角的に捉え解決できるマネジメント力を持つ人材を養成する。

・経済学科

経済学を中心とした知識と技能を身につけ、現代社会が抱える課題を解決し、新たな価値を創造できる人材を養成する。

(3) 国際コミュニケーション学部

コミュニケーション力をもって、社会の課題解決に取り組み、グローバル化する現代社会に貢献できる人材を養成する。

・国際コミュニケーション学科

地域社会及び地域産業のグローバル化に貢献し、世界と地域をつなぐことのできる語学力と国際感覚を持ったグローバル人材を養成する。

・心理社会学科

社会全体を俯瞰できる広い視野、人間の心理を深く理解する力とコミュニケーション力を身につけ、「人と人」「人と社会」をつなぎ、健康社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(4) 医療保健学部

医療人としての倫理観、使命感、責任感及び保健医療分野における専門知識と技術を身につけ、医療・介護予防・健康増進の分野において貢献し、チーム医療に積極的に関わることのできる医療技術者を養成する。

・医療技術学科

医療人としての倫理観、使命感、責任感及び臨床検査学、臨床工学の知識・技能を身につけ、日々進歩し続ける医療機器・医療技術の変化に対応し、チーム医療に積極的に関わることのできる医療技術者を養成する。

・理学療法学科

疾病の治療・予防、介護予防・障害予防、人々の健康維持・増進に理学療法領域から寄与し、科学的根拠に基づきリハビリテーションが実践できる理学療法士を養成する。

## 第3章 教職員組織

(教職員組織)

第3条 本学に、学長、教授、准教授、助教、助手及び職員を置く。ただし、教育・研究上の組織編制として適切と認められる場合には、准教授、助教、又は助手を置かないことができる。必要に応じて、講師のほか非常勤教員を置くことができる。

2 教員は、人格及び学識に優れ、明確な成果を挙げる教育力・指導力を有するものとする。その資格及び職務は、次のとおりとする。

(1) 教授は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及

び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(2) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(3) 講師は、専攻分野について、教授又は准教授に準ずる、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(4) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識、能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(5) 助手は、専攻分野について、知識及び能力を有する者であって、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

3 職員の職務等については、学校法人北陸大学事務組織規程に定める。

4 本学には第1項に定めるほか、副学長、学部長、学生部長、教務部長、図書館長、教務委員長、学科長、留学生別科長、学長補佐その他必要な教職員を置くことができる。なお、任務及び任用等については、学校法人北陸大学大学運営規程に定める。

## 第4章 運営組織

(教学運営協議会)

第4条 本学が組織的・体系的に取り組む教育施策について審議するために、北陸大学教学運営協議会(以下、この規程において「教学運営協議会」という。)を置く。

2 教学運営協議会の任務等必要な事項は、北陸大学教学運営協議会規程に定める。(教授会)

第5条 本学の教育研究に関し、専門的な審議を行う機関として、教授会を置く。

2 教授会は、常勤の教授をもって構成する。

第6条 前条の教授会は、全学教授会及び学部教授会をいう。

(任務等)

第7条 教授会に関し必要な事項は、北陸大学教授会規程に定める。

## 第5章 学科課程及び履修方法

(学科課程、学科目の名称及び単位)

第8条 本学の学科課程、学科目の名称及び単位数は、別表1のとおりとする。

(単位計算の基準)

第9条 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲をもって1単位とする。

2 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲をもって1単位とする。

3 単位計算の基準に関する規程は、別に定める。

(授業の方法)

第9条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第10条の規定により卒業要件として修得すべき単位のうち、第2項の授業方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(修得すべき単位)

第10条 在学中に修得しなければならない学科目及び単位数は、次のとおりとする。

薬学部			
I 群	【必修科目】 総合教養教育科目 薬学準備教育、実習系科目		5単位
			11.5単位
			計16.5単位
II 群	【必修科目】 薬学専門教育科目 実習系科目		120単位
			34単位
			計154単位
I・II 群	【選択科目】 総合教養教育科目 薬学専門教育科目		10単位以上
			7.5単位以上
			計17.5単位以上
合計			188単位以上
経済経営学部 マネジメント学科			
一般教育 科目群	教養科目	必修	1単位
		必修	2単位
		選択	2単位以上
			22単位以上
専門教育 科目群	外国語科目(※1)	上記に加え、一般教育科目群から	17単位以上
		データサイエンス・AI科目	必修 2単位
		専門科目	必修 6単位
		選択	32単位以上
			72単位以上
上記に加え、一般教育科目群又は専門教育科目群から	演習科目	必修	18単位
	上記に加え、専門教育科目群から		14単位以上
			30単位以上
合計			124単位以上

※1 外国人留学生の修得した留学生特例科目の単位は、必修科目を含む外国語科目の単位とすることができる。

経済経営学部 経済学科			
一般教育 科目群	教養科目	必修	1単位
	外国語科目(※1)	必修	2単位
		選択	2単位以上
上記に加え、一般教育科目群から			17単位以上
専門教育 科目群	データサイエンス・AI科目	必修	2単位
	経済基幹科目	必修	10単位
	経済基幹科目及び経済専門科目	選択	28単位以上
	演習科目	必修	18単位
	上記に加え、専門教育科目群から		
上記に加え、一般教育科目群又は専門教育科目群から			30単位以上
合計			124単位以上

※1 外国人留学生の修得した留学生特例科目の単位は、必修科目を含む外国語科目の単位とすることができる。

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科			
専門教育 科目	語学科目	40単位以上(必修20単位含む)	
	言語理解科目	44単位以上(必修2単位含む)	
	文化理解科目		
	国際理解科目		
	海外留学科目	※海外留学A～Dを修得した場合は当該学期中の専門演習科目の単位取得を免除し、修得した単位は卒業要件修得単位数に算入することができる。	
専門演習科目	16単位 ※海外留学A～Dを修得した当該学期中の専門演習科目の単位修得は免除する。		
一般教育 科目	教養科目	7単位以上(必修3単位含む)	
	心理社会科目	4単位以上(必修2単位含む)	
	キャリア科目	4単位以上(必修2単位含む)	
合計			124単位以上

国際コミュニケーション学部 心理社会学科			
総合教育科目	必修科目	4単位	計20単位以上
	選択科目	16単位以上	
専門教育科目	必修科目	24単位	58単位以上 22単位以上
	選択科目	共通領域及び展開応用科目 現代社会科目	
合計			124単位以上

医療保健学部 医療技術学科			
一般教養 科目	必修科目	11単位	計19単位以上 ・臨床工学コースの場合は「データサイエンス」を修得すること。
	選択科目	8単位以上	
専門基礎 科目	必修科目	26単位	計27単位 ・「臨床検査学基礎演習」若しくは「臨床工学基礎演習」のいずれかを修得すること。
	選択科目	1単位以上	
専門科目	必修科目	31単位	計82単位以上 ・臨床検査学コース科目群又は臨床工学コース科目群のいずれかをすべて修得すること。 ・臨床検査学コースの場合は、共通科目群の選択科目から1科目以上、かつ、臨床工学コース科目群から指定する選択科目を2科目以上修得すること。 ・臨床工学コースの場合は、共通科目群の選択科目から「画像解析学」を含む2科目以上、かつ、臨床検査学コース科目群から指定する選択科目を1科目以上修得すること。
	選択科目	51単位以上	
合計			128単位以上

医療保健学部 理学療法学科			
一般教養 科目	必修科目	7単位以上	14単位以上
	選択科目	7単位以上	
専門基礎 科目	必修科目	41単位	41単位
専門科目	必修科目	63単位	73単位以上
	選択科目	「予防理学療法学」または、「先進技術と理学療法学」からどちらか1科目2単位選択必修計10単位以上	
合計			128単位以上

(履修の認定)

第11条 履修科目修了の認定は、各種試験の評価を含む平常の成績によるものとする。

2 成績評価に合格した者には、所定の単位を与える。

3 平常の成績評価及び試験に関する規程は、別に定める。

(他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第12条 学長が教育上特に有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。)又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。(大学以外の教育施設等における学修)

第12条の2 学長が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。(入学前の既修得単位等の認定)

第12条の3 学長が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(第39条及び第60条の規定により修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第12条第1項(同条第2項において準用する場合を含む。)及び前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。(成績評価)

第13条 成績評価は、原則として100点を満点とした点数によって表示し、60点以上を合格とする。

(修業年限及び在学期間)

第14条 本学の修業年限は、次のとおりとする。

- (1) 薬学部 6年
- (2) 経済経営学部 4年
- (3) 国際コミュニケーション学部 4年
- (4) 医療保健学部 4年

2 在学期間は、薬学部にあつては12年、経済経営学部、国際コミュニケーション学部、医療保健学部にあつては8年をこえることができない。

(卒業)

第15条 学長は前条第1項各号に定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得した者に、卒業を認定する。

(学位)

第16条 学長は、前条により卒業を認定した者に、以下に定める学士の学位を授与する。

薬学部	薬学科	学士(薬学)
経済経営学部	マネジメント学科	学士(マネジメント学)
	経済学科	学士(経済学)
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	学士(文学)
	心理社会学科	学士(心理学)
医療保健学部	医療技術学科	学士(医療技術学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)

2 学長は、学位授与の証明として、卒業証書・学位記を授与する。

## 第6章 入学、休学、復学、退学、編入学、転入学及び再入学

(入学の時期)

第17条 入学の時期は、第31条に定める学年の始めとする。ただし、学長は必要に応じて第32条の定める学期の始めとすることができる。

(入学志願者の資格)

第18条 本学に入学を志願することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が、高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

(7) 本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる

2 第2条第1項に掲げる3年次に編入学することのできる者の資格は、別に定める。(入学志願の手続)

第19条 入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに願い出なければならない。

2 入学志願の受付期間及び入学検定料は、別に定める。

(入学選考)

第20条 学長は、入学志願者に対して、学力、健康その他について選考のうえ、入学を許可する。

2 選考の方法及び期日は、別に定める。

(休学)

第21条 疾病その他やむを得ない事由により、3ヵ月以上休学することができない者は、その事由を詳記した保証人連署の願書を提出して、学長の許可を得なければならない。ただし、疾病のため休学しようとするときは、医師の診断書を添えなければならない。

2 学長は、特別の事由があると認めたるには、休学を命ずることがある。

3 休学の期間は、1年をこえることはできない。ただし、特別の事由がある場合に限り1年を限度として休学期間の延長を認めることがある。

4 休学の期間は、通算して4年をこえることはできない。

5 休学の期間は、第14条に定める修業年限及び在学期間に算入しない。

(復学)

第22条 休学中の者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ、学長に願い出て、その許可を受けなければならない。ただし、疾病による休学者は医師の診断書を添えなければならない。

2 休学の期間が満了し、復学しようとするときも、前項と同様とする。

(退学)

第23条 疾病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、その事由を詳記した保証人連署の願書を提出して、学長の許可を得なければならない。

2 次の各号の一に該当する者について、学長はこれを退学に処する

(1) 第14条第2項に定める在学期間をこえた者

(2) 学部に第14条第2項に定める在学期間以外の定めがある場合、その在学期間をこえた者

(3) 第21条第3項又は同条第4項に定める休学期間をこえてなお修学できない者

(4) 授業料を納入せず、催告を受けても納付しない者

(5) 長期間にわたり行方不明の者

(6) 死亡した者

(転学部・転学科)

第24条 本学の他の学部・学科へ転学部及び転学科を志願する者は、審査のうえ、学長がこれを許可することがある。

(転学)

第25条 他の大学を受験し、転学しようとする者は、その旨を記した保証人連署の願書を提出して、学長の許可を得なければならない。

(編入学)

第26条 第2条第1項に定める編入学者のほか、本学に編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、審査のうえ、学長が相当年に編入学を許可することがある。

(転入学)

第27条 他の大学から、本学へ転入学を志願する者は、欠員のある場合に限り、審査のうえ、学長が相当年に入学を許可することがある。

(再入学)

第28条 退学者が再入学を願したときは、審議のうえ、学長が相当年に入学を許可することがある。

2 前項の再入学は、第23条第1項又は第2項第3号乃至第5号により退学した者で、かつ退学の理由となった事情が解消されたと認められる場合に限るものとする。

3 退学者の再入学は、退学後3年以内の者に限る。

(入学手続)

第29条 入学を許可された者は、指定の期日までに保証人を定めて、所定の手続をとらなければならない。

2 前項の手続をしないうちは、入学の許可を取り消すことがある。

(保証人)

第30条 保証人は、学生の学費支出の責任者である父母若しくは縁故者に限る。

## 第7章 学年、学期及び休業日

(学年)

第31条 学年は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(学期)

第32条 学年を2期に分け、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、必要に応じて前期の終期及び後期の始期を変更することができる。

2 1年間の授業期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。(授業を行わない日)

第33条 授業を行わない日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 創立記念日 6月1日

(4) 夏休み、冬休み及び春休みは、学年ごとに定める

(5) 臨時に授業を行わない日が必要な場合は、その都度定める

2 授業を行わない日といえども、学長は、必要に応じて授業を命ずることができる。

## 第8章 学費

(納付金)

第34条 入学金、授業料及びその他の学費は、別表2のとおりとする。

2 前項の納付金の納付方法及び期限は、別に定める。

(退学者等の納付金)

第35条 退学及び転学の場合には、その学期分の授業料等を納付しなければならない。ただし、第23条第2項第5号及び同条第6号の退学の場合は、この限りでない。

2 休学を許可したときは、休学期間中の授業料等を免除し、これに代えて在籍料を徴収する。

(科目等履修生等の納付金)

第36条 科目等履修生・聴講生、委託生、研修生及び専攻生の諸納付金の金額ならびに納付方法及び期限については、別に定める。

(納付金の還付)

第37条 既納の学費は、事由の如何にかかわらず還付しない。ただし、第35条第1項ただし書及び同条第2項の場合を除く。

(登学の停止等)

第38条 学費の納入を怠った者の処置については、第23条第2項第4号の場合を除き、別に定める。

## 第9章 科目等履修生・聴講生、委託生、研修生及び専攻生

(科目等履修生・聴講生)

第39条 本学の学生以外のもので、一又は複数の授業科目の履修を志願する者は、審査のうえ、学長が科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生は、その履修科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

第40条 本学の学生以外のもので、一又は複数の授業科目の聴講を志願する者は、審査のうえ、学長が聴講生として入学を許可することがある。

第41条 科目等履修生・聴講生の在学期間は、1年以内とする。

(委託生)

第42条 公共団体その他の機関から、特定科目について修学を委託された者は、審査のうえ、学長が委託生として入学を許可することがある。

2 委託生の在学期間は、原則として1年以内とする。

(研修生)

第43条 大学を卒業した者で、特殊の事項について研修を志願する者は、審査のうえ、学長が研修生として入学を許可することがある。

第44条 研修生の在学期間は、2年以内とする。

(専攻生)

第45条 特殊の事項につき精密な研究を志願する者は、審査のうえ、学長が専攻生として入学を許可することがある。

2 専攻生を志願することができる者については、別に定める。

第46条 専攻生の修業年限は、1年とする。ただし、研究を継続しようとする者は、指導教員を経て、延期を学長に願い出ることができる。

第47条 < 削除 >

第48条 < 削除 >

(学則の準用)

第49条 科目等履修生・聴講生、委託生、研修生及び専攻生に対しても、特に定める場合を除いては、この学則を準用する。

## 第10章 賞罰

(表彰)

第50条 学長は、学業成績が特に優秀な者又は学生の模範となる行為のあった者に対して、これを表彰することがある。

(懲戒)

第51条 学長は、学則、諸規程及び法令等を守らず、学生の本分に悖る行為のあった者に、次の懲戒を行う。なお、懲戒に当たっては、北陸大学学生懲戒規程に従い行うものとする。

(1) 訓告

(2) 謹慎

(3) 停学

(4) 退学

2 退学は、次の各号の一に該当する場合に行う。

(1) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

(2) 品行不良で、改善の見込みがないと認められた者

(3) 正当の理由がなく引続き1年以上欠席した者

(4) 本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した者

3 停学の期間は、第14条に規定する修業年限及び在学期間に算入する。ただし、停学の期間が3ヵ月をこえるときは、修業年限に算入しない。

## 第11章 公開講座

(公開講座)

第52条 本学は、随時公開講座を開設する。

2 公開講座に関する規程は、別に定める。

第 12 章 図書館

(図書館)

第53条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

第 13 章 薬用植物園

(薬用植物園)

第54条 本学薬学部に、附属薬用植物園を置く。

2 附属薬用植物園に関する規程は、別に定める。

第 14 章 研究所及び附属研究施設

(研究所及び附属研究施設)

第55条 本学に、教育研究に必要な研究所及び附属研究施設を置くことができる。

2 研究所及び附属研究施設に関し、必要な事項は別に定める。

第 15 章 厚生保健施設

(厚生保健施設)

第56条 本学は、学生の福利をはかるため厚生保健の施設を設ける。

2 この施設についての規程は、別に定める。

第 16 章 教育職員免許状を得るための課程

(教職課程)

第57条 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法その他の関係法規に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数は別表3のとおりとし、その履修方法について必要な事項は別に定める。

(教育職員免許資格)

第58条 本学において取得できる教育職員免許状は、次に掲げるものとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
経済経営学部	マネジメント学科	中学校教諭 1種免許状	保健体育
		高等学校教諭 1種免許状	公民、保健体育
	経済学科	高等学校教諭 1種免許状	公民
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	中学校教諭 1種免許状	英語
		高等学校教諭 1種免許状	

(履修方法)

第59条 単位の修得は、第5章学科課程及び履修方法の規程を適用する。

第 17 章 特別の課程

(特別の課程)

第60条 本学の学生以外の者を対象に、学校教育法第105条に規定する特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を発行することができる。

2 特別の課程に関する規程は、別に定める。

第 18 章 学則の変更

(学則の変更)

第61条 学則の変更は、全学教授会の議を経て、理事会が決定する。

附則(改正 2024(令和6)年2月7日 第10回全学教授会 2024年2月29日 第305回理事会決定)

- この学則は、2024年4月1日から施行する。
- 第8条、第34条及び第57条の別表の適用については次のとおりとする。

	対象	備考	
第8条	別表1	・2024年度以降の薬学部入学生	2024年4月1日施行
		・2024年度以降の経済経営学部入学生	2024年4月1日施行
		・2022年度以降の国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科入学生	2022年4月1日施行
		・2021年度以降の国際コミュニケーション学部心理社会学科入学生	2021年4月1日施行
		・2023年度以降の医療保健学部入学生	2023年4月1日施行
	別表1-①	・2019年度から2023年度の薬学部入学生	2019年4月1日施行
		・2022年度及び2023年度の経済経営学部入学生	2022年4月1日施行
		・2021年度の国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科入学生	2021年4月1日施行
	別表1-②	・2022年度の医療保健学部入学生	2022年4月1日施行
		・2015年度から2018年度の薬学部入学生	2015年4月1日施行
		・2019年度から2021年度の経済経営学部入学生	2019年4月1日施行
		・2019年度及び2020年度の国際コミュニケーション学部入学生	2019年4月1日施行
		・2017年度から2021年度の医療保健学部入学生	2017年4月1日施行
別表1-③	・2008年度から2014年度の薬学部入学生	2008年4月1日施行	

第34条	別表2	・2024年度以降の経済経営学部入学生	2024年4月1日施行
		・2017年度以降の薬学部入学生	2017年4月1日施行
		・2017年度以降の国際コミュニケーション学部入学生	
		・2017年度以降の医療保健学部入学生	
第57条	別表2-①	・2017年度から2023年度の経済経営学部入学生	2017年4月1日施行
		・2006年度から2016年度の薬学部入学生	2006年4月1日施行
	別表3	・2024年度以降の経済経営学部入学生	2024年4月1日施行
		・2022年度以降の国際コミュニケーション学部入学生	2022年4月1日施行
		・2022年度から2023年度の経済経営学部入学生	2022年4月1日施行
別表3-①	・2019年度から2021年度の国際コミュニケーション学部入学生	2019年4月1日施行	
		2019年4月1日施行	
別表3-②	・2019年度から2021年度の経済経営学部入学生	2019年4月1日施行	

3. 第10条に定める「[在学中に履修しなければならない学科目及び単位数]」は別表1の対象学生に適用する。

4. 以下略

別表1

学科目の名称及び単位数

薬学部

薬学部 薬学科			
科目区分	授業科目	単位数	
(I群)総合教養教育科目	教養科目	北陸大学の学び	1
		科学入門Ⅰ	1*
		科学入門Ⅱ	1*
		社会学	2*
		哲学	2*
		法学	2*
		心理学	2*
		北陸の文化と社会	2*
		国際関係論	2*
		経済学	2*
		社会保障と福祉	2*
		スポーツ	1*
		語学	英語Ⅰ
	英語Ⅱ		1
	英語Ⅲ		1
	英語Ⅳ		1
	英会話Ⅰ		1*
	英会話Ⅱ		1*
	中国語Ⅰ		1*
	中国語Ⅱ	1*	
日本語Ⅰ	1*		
日本語Ⅱ	1*		
日本語Ⅲ	1*		
日本語Ⅳ	1*		
(I群)薬学準備教育科目	薬学準備教育	基礎科学	5
		情報リテラシー	1.5
		基礎ゼミナールⅠ	2
		基礎ゼミナールⅡ	1
		早期体験学習	1
科目	実習系	薬学基礎実習	1
(II群)薬学専門教育科目	専門科目	医療人	1.5
		社会と薬学	1.5
		薬事関連法規	1.5
		薬剤経済学	1.5
		高齢者の心理・行動	1
		薬剤師倫理	1
		基礎物理化学	1.5
		物理化学Ⅰ	1.5
		物理化学Ⅱ	1.5
		物理化学Ⅲ	1.5
		分析化学Ⅰ	1.5
		分析化学Ⅱ	1.5
		分析化学Ⅲ	1.5
		基礎有機化学	1.5
		有機化学Ⅰ	1.5
		有機化学Ⅱ	1.5
		有機化学Ⅲ	1.5
		無機化学	1.5
		生体分子学Ⅰ	1.5
		生体分子学Ⅱ	1.5
生薬学	1.5		
天然物化学	1.5		
細胞生物学	1.5		

薬学部 薬学科			
科目区分	授業科目	単位数	
(Ⅱ群)薬学専門教育科目	専門科目	生化学Ⅰ	1.5
		生化学Ⅱ	1.5
		生化学Ⅲ	1.5
		機能形態学Ⅰ	1.5
		機能形態学Ⅱ	1.5
		機能形態学Ⅲ	1.5
		微生物学	1.5
		生体防御学	1.5
		薬理・薬物治療Ⅰ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅱ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅲ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅳ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅴ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅵ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅶ	1
		薬理・薬物治療Ⅷ	1.5
		薬理・薬物治療Ⅸ	1
		臨床検査学	1
		臨床薬学Ⅰ	1.5
		臨床薬学Ⅱ	1
		臨床薬学Ⅲ	1
		薬物動態学Ⅰ	1.5
		薬物動態学Ⅱ	1.5
		製剤学	1.5
		製剤設計学	1.5
		調剤学	1.5
		情報薬学概論	1.5
		医薬品情報学	1.5
		栄養衛生学	1.5
	環境衛生学Ⅰ	1.5	
	環境衛生学Ⅱ	1.5	
	公衆衛生学	1.5	
	食品衛生学	1.5	
	薬毒物衛生学Ⅰ	1.5	
	薬毒物衛生学Ⅱ	1.5	
	臨床栄養学	1.5	
	医療英語	1	
	臨床英会話	1	
	薬学演習Ⅰ	2	
	薬学演習Ⅱ	2	
	総合薬学演習Ⅰ	1	
	総合薬学演習Ⅱ	1	
	総合薬学演習Ⅲ	7	
卒業研究	20		
選択科目	天然薬物入門	1.5*	
	漢方医薬学概論	1.5*	
	看護学	1.5*	
	香粧品科学	1.5*	
	和漢薬物学	1.5*	
	プロセス化学	1.5*	
	医薬品研究開発概論	1.5*	
	放射薬品学	1.5*	
先端医療概論	1.5*		
自由科目	臨床体験学習	1☆	
	地域薬学研究	1☆	
	グローバル医療人Ⅰ	1☆	
	グローバル医療人Ⅱ	1☆	
グローバル医療人Ⅲ	1☆		
実習系科目	生化学系実習	1	
	物理化学・分析化学系実習	1	
	有機化学系実習	1	
	生体防御系実習	1	
	薬理系実習	1	
	天然物化学系実習	1	
	薬剤系実習	1	
	衛生環境系実習	1	
	臨床薬学実習	1	
	実務実習事前学習	5	
薬局・病院実務実習	20		

備考 \*は選択科目、☆は自由科目を示す。

経済経営学部

経済経営学部 マネジメント学科			
科目区分	授業科目	単位数	
一般教育科目群	教養科目	北陸大学の学び	1
		北陸の文化と社会	2*
		SDGs1	2*
		SDGs2	2*
		哲学	2*
		倫理学	2*
		心理学	2*
		社会学	2*
		政治学	2*
		行政学	2*
		国際政治学	2*
		グローバルガバナンス	2*
		自然科学概論	2*
		ジェンダー論	2*
		生命科学	2*
	スポーツ1	1*	
	スポーツ2	1*	
	性教育	2*	
	救急処置	2*	
	発育発達論	2*	
	公衆衛生学	2*	
	外国語科目	英語1	1
		英語2	1
		実用英語1	1*
		実用英語2	1*
		実用英語3	1*
		実用英語4	1*
		中国語1	1*
		中国語2	1*
		中国語3	1*
		中国語4	1*
	English Seminar1	2*	
	English Seminar2	2*	
	English Seminar3	2*	
	留学生特例科目	日本語1	1*
日本語2		1*	
日本語3		1*	
日本語4		1*	
日本語5		1*	
日本語6		1*	
実用日本語1		1*	
実用日本語2		1*	
実用日本語3		1*	
実用日本語4		1*	
実用日本語5		1*	
実用日本語6		1*	
日本事情1		2*	
日本事情2		2*	
資格日本語1	2*		
資格日本語2	2*		
資格日本語3	2*		
資格日本語4	2*		
文章表現科目	日本語リテラシー1	2*	
	日本語リテラシー2	2*	
	アカデミックライティング1	1*	
	アカデミックライティング2	1*	
	リサーチプロジェクト1	1*	
	リサーチプロジェクト2	1*	
海外研修科目	海外研修1	1*	
	海外研修2	1*	
	海外研修3	2*	
	海外研修4	2*	
	海外研修5	6*	
	海外研修6	6*	
専門教育科目群	データサイエンス・AI科目	情報リテラシー	2
		プログラミング入門	2*
		AI基礎	2*
		データサイエンス1	2*
		データサイエンス2	2*
データサイエンス3	2*		
データサイエンス4	2*		

経済経営学部 マネジメント学科		
科目区分	授業科目	単位数
AI科目	データサイエンス・	
	社会調査法	2*
	データサイエンスのための数学	2*
	データベース	2*
	データエンジニアリング	2*
キャリア形成科目	キャリアデザイン1	1*
	キャリアデザイン2	1*
	リーダーシップ入門	1*
	ファシリテーション論	2*
	アントレプレナーシップ論	1*
	キャリア形成論	1*
	インターンシップ	2*
	キャリアプランニング	2*
専門教育科目群	経営学入門	2
	経営戦略論	2*
	経営分析論	2*
	経営組織論	2*
	人的資源管理論	2*
	マーケティング論	2*
	消費者行動論	2*
	マーケットリサーチ論	2*
	マーケティング・サイエンス	2*
	広告論	2*
	イノベーション論	2*
	中小企業論	2*
	経営史	2*
	法学入門	2
	日本国憲法	2*
	民法1	2*
	民法2	2*
	民法3	2*
	刑法	2*
	行政法	2*
	企業法	2*
	知的財産権法	2*
	労働法	2*
	会計学入門	2
	簿記論1	2*
	簿記論2	2*
	簿記論3	2*
	工業簿記論	2*
	原価計算論	2*
	会計学原論	2*
	財務会計論	2*
	税務会計論	2*
	管理会計論	2*
	監査論	2*
	会計情報論	2*
	情報社会論	2*
	基礎プログラミング	2*
	応用プログラミング	2*
	実践プログラミング	2*
	情報ビジネス論	2*
	情報通信ネットワーク1	2*
	情報通信ネットワーク2	2*
	情報システム1	2*
	情報システム2	2*
	アプリケーション開発	2*
	情報セキュリティ	2*
経済学入門	2*	
ミクロ経済学	2*	
マクロ経済学	2*	
日本経済論	2*	
国際経済学	2*	
スポーツ科学概論	2*	
運動生理学	2*	
運動動作学	2*	
運動心理学	2*	
体育原理	2*	
スポーツ栄養学	2*	
スポーツ社会学	2*	
スポーツマネジメント	2*	

経済経営学部 マネジメント学科			
科目区分	授業科目	単位数	
専門教育科目群	コーチング学	2*	
	学校保健	2*	
	北陸SDG s 基礎	2*	
	北陸SDG s 実践	2*	
	情報処理演習	2*	
	地域マネジメント入門	2*	
	地域マネジメント総論	2*	
	地域マネジメント実習	1*	
	スポーツ実習1(サッカー)	1*	
	スポーツ実習2(バスケットボール)	1*	
	スポーツ実習3(体づくり運動・器械)	1*	
	スポーツ実習4(ベースボール・テニス)	1*	
	スポーツ実習5(ダンス)	1*	
	スポーツ実習6(バレー・バドミントン)	1*	
	スポーツ実習7(陸上・水泳)	1*	
	スポーツ実習8(武道)	1*	
	マネジメント実践講座1	1*	
	マネジメント実践講座2	1*	
	マネジメント実践講座3	1*	
	マネジメント実践講座4	1*	
	マネジメント実践講座5	2*	
	マネジメント実践講座6	2*	
	マネジメント実践講座7	2*	
	マネジメント実践講座8	2*	
	演習科目	基礎ゼミナール	4
		専門基礎ゼミナール	4
		専門ゼミナール	4
		卒業研究	6
自由科目群	教育学概論	2*	
	教職論	2*	
	教育社会学	2*	
	教育心理学	2*	
	特別支援教育	1*	
	教育課程論	2*	
	道徳教育論	2*	
	特別活動と総合的な学習の時間	2*	
	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2*	
	生徒・進路指導論	2*	
	教育相談	2*	
	教育実習事前事後指導	1*	
	教育実習1	2*	
	教育実習2	2*	
	教職実践演習(中・高)	2*	
	公民科教育法1	2*	
	公民科教育法2	2*	
	保健体育科教育法1	2*	
	保健体育科教育法2	2*	
	保健体育科教育法3	2*	
	保健体育科教育法4	2*	
	アルミディ	基礎数学1	2*
基礎数学2		2*	

備考 \*印は選択科目を示す。

経済経営学部 経済学科			
科目区分	授業科目	単位数	
一般教育科目群	教養科目	北陸大学の学び	1
		北陸の文化と社会	2*
		SDGs1	2*
		SDGs2	2*
		哲学	2*
		倫理学	2*
		心理学	2*
		社会学	2*
		政治学	2*
		行政学	2*
		国際政治学	2*
		グローバルガバナンス	2*
		自然科学概論	2*
		ジェンダー論	2*
		生命科学	2*
		スポーツ1	1*
		スポーツ2	1*
		性教育	2*
		救急処置	2*
		発育発達論	2*
	公衆衛生学	2*	
	外国語科目	英語1	1
		英語2	1
		実用英語1	1*
		実用英語2	1*
		実用英語3	1*
		実用英語4	1*
		中国語1	1*
		中国語2	1*
		中国語3	1*
		中国語4	1*
	留学生生特例科目	日本語1	1*
		日本語2	1*
		日本語3	1*
		日本語4	1*
		日本語5	1*
		日本語6	1*
		実用日本語1	1*
		実用日本語2	1*
		実用日本語3	1*
		実用日本語4	1*
		実用日本語5	1*
		実用日本語6	1*
日本事情1		2*	
日本事情2		2*	
資格日本語1		2*	
資格日本語2		2*	
資格日本語3		2*	
資格日本語4		2*	
文章表現科目	日本語リテラシー1	2*	
	日本語リテラシー2	2*	
	アカデミックライティング1	1*	
	アカデミックライティング2	1*	
海外研修科目	リサーチプロジェクト1	1*	
	リサーチプロジェクト2	1*	
	海外研修1	1*	
	海外研修2	1*	
	海外研修3	2*	
	海外研修4	2*	
海外研修5	6*		
海外研修6	6*		
A1科目	情報リテラシー	2	
	プログラミング入門	2*	
	AI基礎	2*	
	データサイエンス1	2*	
	データサイエンス2	2*	
データサイエンス3	2*		
データサイエンス4	2*		

経済経営学部 経済学科				
科目区分	授業科目	単位数		
一般教育科目群	A1科目	社会調査法	2*	
		データサイエンスのための数学	2*	
		データベース	2*	
		データエンジニアリング	2*	
	キャリア形成科目	キャリアデザイン1	1*	
		キャリアデザイン2	1*	
		リーダーシップ入門	1*	
		ファシリテーション論	2*	
		アントレプレナーシップ論	1*	
		キャリア形成論	1*	
		インターンシップ	2*	
		キャリアプランニング	2*	
	専門教育科目群	経済基幹科目	経済学入門	2
			経営学入門	2*
			会計学入門	2*
			ミクロ経済学1	2
			ミクロ経済学2	2
			マクロ経済学1	2
			マクロ経済学2	2
			経済数学	2*
経済統計			2*	
計量経済学			2*	
経済データ分析			2*	
経済の思想と哲学			2*	
ゲーム理論			2*	
日本経済論			2*	
金融リテラシー			2*	
金融論			2*	
ファイナンシャルプランニング			2*	
国際金融論			2*	
コーポレートファイナンス			2*	
財政学			2*	
公共経済学		2*		
行動経済学		2*		
経済政策		2*		
社会保障論		2*		
労働経済学		2*		
教育経済学		2*		
マーケティング論		2*		
イノベーション論		2*		
都市・地域経済論		2*		
医療経済論		2*		
資源・エネルギー論		2*		
国際経済学		2*		
環境経済学		2*		
開発経済学		2*		
グローバル経済論		2*		
北陸SDGs基礎		2*		
北陸SDGs実践		2*		
展開科目		簿記論	2*	
		財務会計論	2*	
		人的資源管理論	2*	
	法学入門	2*		
	民法1	2*		
	民法2	2*		
	日本国憲法	2*		
	企業法	2*		
	地域マネジメント入門	2*		
	地域マネジメント総論	2*		
	地域マネジメント実習	1*		
	基礎プログラミング	2*		
	応用プログラミング	2*		
	実践プログラミング	2*		
	スポーツ科学概論	2*		
	コーチング学	2*		
	スポーツ社会学	2*		
	スポーツマネジメント	2*		
演習科目	基礎ゼミナール	4		
	専門基礎ゼミナール	4		
	専門ゼミナール	4		
	卒業研究	6		

経済経営学部 経済学科			
科目区分	授業科目	単位数	
自由科目群	教職科目	教育学概論	2*
		教職論	2*
		教育社会学	2*
		教育心理学	2*
		特別支援教育	1*
		教育課程論	2*
		道徳教育論	2*
		特別活動と総合的な学習の時間	2*
		教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2*
		生徒・進路指導論	2*
		教育相談	2*
		教育実習事前事後指導	1*
		教育実習1	2*
		教育実習2	2*
		教職実践演習(中・高)	2*
		公民科教育法1	2*
	公民科教育法2	2*	
	アル科目	基礎数学1	2*
		基礎数学2	2*

備考 \*印は選択科目を示す。

国際コミュニケーション学部

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科					
科目区分	授業科目	単位数			
国際コミュニケーション学部	教養科目	北陸大学の学び	1		
		情報リテラシー	2		
		スポーツ I	1*		
		スポーツ II	1*		
		心理学	2*		
		社会学	2*		
		哲学	2*		
		日本国憲法	2*		
		経済学	2*		
		芸術学	2*		
		自然科学概論	2*		
		スポーツ科学	2*		
		日本史	2*		
		ジェンダー論	2*		
		一般教育科目	心理社会科目	コミュニケーション心理学	2*
				消費者行動論	2*
	教育社会学			2*	
	家族社会学			2*	
	環境社会学			2*	
	データ解析			2*	
	発達心理学			2*	
	青年心理学		2*		
	障害者・障害児心理学		2*		
	広告と消費の心理学		2*		
	学習・言語心理学		2*		
	キャリア科目		PBL入門	2	
			コミュニケーション技法 I	2*	
			コミュニケーション技法 II	2*	
		現代社会と職業	2*		
		職業理解とインターンシップ	2*		
		キャリア総合演習	2*		
		体験学習	1*		
	海外インターンシップ	1*			
	専門教育科目	語学科目	Basic Speaking I	1	
			Basic Speaking II	1	
			Basic Listening I	1	
			Basic Listening II	1	
			Basic Presentation & Discussion I	1	
			Basic Presentation & Discussion II	1	
			Basic Reading I	1	
Basic Reading II			1		
Basic Writing I			1		
Basic Writing II			1		
Basic Grammar I			1		
Basic Grammar II			1		
Advanced Speaking I			1*		
Advanced Speaking II			1*		
Advanced Listening I			1*		
Advanced Listening II			1*		
Advanced Presentation & Discussion I			1*		
Advanced Presentation & Discussion II			1*		
Advanced Reading I			1*		
Advanced Reading II			1*		
Advanced Writing I			1*		
Advanced Writing II			1*		
Advanced Grammar I			1*		
Advanced Grammar II			1*		
Practical Communication I	1*				
Practical Communication II	1*				
Practical Communication III	1*				
Practical Communication IV	1*				
Intensive English I	1*				
Intensive English II	1*				
TOEIC Prep & Skills I	1*				
TOEIC Prep & Skills II	1*				
SA English I	1*				
SA English II	1*				
SA English III	1*				

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科				
科目区分	授業科目	単位数		
専門教育科目	語学科目	SA English IV	1*	
		SA English V	1*	
		SA English VI	1*	
		中国語 I	2	
		中国語 II	2	
		中国語 III	1	
		中国語 IV	1	
		中国語 V	2*	
		中国語 VI	2*	
		中国語 VII	1*	
		中国語 VIII	1*	
		中国語会話 I	1	
		中国語会話 II	1	
		中国語会話 III	1*	
		中国語会話 IV	1*	
		中国語作文 I	1*	
		中国語作文 II	1*	
		中国語文法基礎 I	1*	
		中国語文法基礎 II	1*	
		中国語コミュニケーション I	1*	
		中国語コミュニケーション II	1*	
		中国語コミュニケーション III	1*	
		中国語コミュニケーション IV	1*	
		資格中国語 I	1*	
		資格中国語 II	1*	
		中国語表現法 I	1*	
		中国語表現法 II	1*	
		応用中国語 I	1*	
		応用中国語 II	1*	
		応用中国語 III	1*	
		応用中国語 IV	1*	
		応用中国語 V	1*	
		応用中国語 VII	1*	
		応用中国語 VIII	1*	
		日本語 I	2*	
		日本語 II	2*	
		日本語 III	2*	
		日本語 IV	2*	
		日本事情 I	2*	
		日本事情 II	2*	
		実用日本語 I	2*	
		実用日本語 II	2*	
		日本語会話 I	1*	
		日本語会話 II	1*	
		日本語会話 III	1*	
		日本語会話 IV	1*	
		日本語会話 V	1*	
		日本語会話 VI	1*	
		資格日本語 I	1*	
		資格日本語 II	1*	
		資格日本語 III	1*	
		資格日本語 IV	1*	
		資格日本語 V	1*	
		資格日本語 VI	1*	
		資格日本語 VII	1*	
		資格日本語 VIII	1*	
		日本語表現 I	1*	
		日本語表現 II	1*	
		日本語演習 I	1*	
		日本語演習 II	1*	
		日本語演習 III	1*	
		日本語演習 IV	1*	
		日本語演習 V	1*	
		日本語演習 VI	1*	
		日本語総合演習 I	1*	
		日本語総合演習 II	1*	
		言語理解科目	ことばと文化	2*
			言語学入門	2*
			英語学概論	2*
			英米文学史	2*

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科				
科目区分	授業科目	単位数		
専門教育科目	言語理解科目	英語学特講	2*	
		音声学	2*	
		英語圏の文化と社会	2*	
		英語で学ぶ英語圏の文化	2*	
		英語専門研究 I	2*	
		英語専門研究 II	2*	
		英語専門研究 III	2*	
		英語専門研究 IV	2*	
		Project English I (English Language/Linguistics)	2*	
		Project English II (English Language/Linguistics)	2*	
		英語通訳・翻訳研究 I	2*	
		英語通訳・翻訳研究 II	2*	
		英語科教育法 I	2*	
		英語科教育法 II	2*	
		英語科教育法 III	2*	
		英語科教育法 IV	2*	
		中国の文化と社会	2*	
		中国語文法論 I	2*	
		中国語文法論 II	2*	
		中国語学特講 I	2*	
		中国語学特講 II	2*	
		中国語学特講 III	2*	
		中国語学特講 IV	2*	
		中国語テーマ研究 I	2*	
		中国語テーマ研究 II	2*	
		中国文学特講 I	2*	
		中国文学特講 II	2*	
		中国語通訳・翻訳研究 I	2*	
		中国語通訳・翻訳研究 II	2*	
		日本語学入門	2*	
		日本語教育学入門	2*	
		日本語教育演習 I	2*	
		日本語教育演習 II	2*	
		日本語教育演習 III	2*	
		日本語学概論 I	2*	
		日本語学概論 II	2*	
		日本語学特講 I	2*	
		日本語学特講 II	2*	
		日本語教育学概論 I	2*	
		日本語教育学概論 II	2*	
		日本語教育学特講 I	2*	
		日本語教育学特講 II	2*	
		日中通訳・翻訳研究 I	2*	
		日中通訳・翻訳研究 II	2*	
		日中通訳・翻訳研究 III	2*	
		日中通訳・翻訳研究 IV	2*	
		フランスの言葉と文化 I	2*	
		フランスの言葉と文化 II	2*	
		ドイツの言葉と文化 I	2*	
		ドイツの言葉と文化 II	2*	
		スペインの言葉と文化 I	2*	
		スペインの言葉と文化 II	2*	
		朝鮮の言葉と文化 I	2*	
		朝鮮の言葉と文化 II	2*	
		文化理解科目	北陸の文化と社会	2
			宗教学	2*
			人間と文化	2*
			文化資源学(歴史・民俗)	2*
			文化資源学(美術・工芸)	2*
			文化資源学(史跡・名勝地)	2*
			文化資源学(世界遺産)	2*
			現代日本論	2*
			観光学概論	2*
			英語で学ぶ日本文化	2*
			Project English I (Culture Studies and Japan)	2*
			Project English II (Culture Studies and Japan)	2*
		日本の文化政策	2*	

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科			
科目区分	授業科目	単位数	
専門教育科目	国際理解科目	国際関係学入門	2*
		国際関係史	2*
		国際社会学	2*
		異文化間コミュニケーション	2*
		現代ヨーロッパ論	2*
		現代アメリカ論	2*
		現代アジア論Ⅰ	2*
		現代アジア論Ⅱ	2*
		英語で学ぶ国際関係	2*
		国際協力論	2*
		Project English I (International Relations)	2*
		Project English II (International Relations)	2*
		世界の中の日本	2*
		専門演習科目	基礎ゼミナールⅠ
	基礎ゼミナールⅡ		2
	専門ゼミナールⅠ		2*
	専門ゼミナールⅡ		2*
	専門ゼミナールⅢ		2*
	専門ゼミナールⅣ		2*
	海外留学科目	卒業研究Ⅰ	2*
		卒業研究Ⅱ	2*
		海外研修A	1*
		海外研修B	1*
		短期海外研修A	1*
		短期海外研修B	1*
		海外語学研修AⅠ	2*
		海外語学研修AⅡ	2*
		海外語学研修BⅠ	2*
		海外語学研修BⅡ	2*
		海外留学A	6*
		海外留学B	6*
	海外留学C	6*	
	海外留学D	6*	
教職に関する科目	教職論	2☆	
	教育学概論	2☆	
	教育心理学	2☆	
	特別支援教育	1☆	
	教育課程論	2☆	
	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2☆	
	道徳教育論	2☆	
	特別活動と総合的な学習の時間	2☆	
	生徒・進路指導論	2☆	
	教育相談	2☆	
	教育実習事前事後指導	1☆	
	教育実習Ⅰ	2☆	
	教育実習Ⅱ	2☆	
	教職実践演習(中・高)	2☆	

備考 \*は選択科目、☆は自由科目を示す。

国際コミュニケーション学部 心理社会学科				
科目区分	授業科目	単位数		
総合教育科目	教養科目	北陸大学の学び	1	
		自然科学概論	2*	
		哲学	2*	
		社会学	2*	
		芸術学	2*	
		経済学	2*	
		ジェンダー論	2*	
		日本史	2*	
		日本国憲法	2*	
		スポーツⅠ	1*	
		スポーツⅡ	1*	
		スポーツ科学	2*	
		情報処理入門	1	
		情報処理応用	1*	
	外国語科目	English CommunicationⅠ	1	
		English CommunicationⅡ	1	
		総合英語Ⅰ	2*	
		総合英語Ⅱ	2*	
		総合英語Ⅲ	2*	
		総合英語Ⅳ	2*	
		中国語会話	1*	
		キャリア科目	PBL入門	2*
			現代社会と職業	2*
			コミュニケーション技法Ⅰ	2*
	コミュニケーション技法Ⅱ		2*	
	体験学習Ⅰ		1*	
	体験学習Ⅱ		1*	
	専門教育科目	共通領域	職業理解とインターンシップ	2*
			海外インターンシップ	1*
			心理学概論Ⅰ	2
			心理学概論Ⅱ	2
			心理学統計法	2*
			心理学研究法	2*
			心理学実験Ⅰ	2*
			心理学実験Ⅱ	2*
			心理社会データ解析	2*
			心理調査概論	2*
			心理学英文講読	2*
			心理学特殊講義Ⅰ	2*
			心理学特殊講義Ⅱ	2*
			心理学基礎演習Ⅰ	2
		心理学基礎演習Ⅱ	2	
心理学ゼミナールⅠ		2		
心理学ゼミナールⅡ		2		
心理学ゼミナールⅢ		2		
心理学ゼミナールⅣ		2		
卒業研究Ⅰ		2		
卒業研究Ⅱ		2		
展開応用科目		社会・産業心理学領域	社会心理学概論	2
			コミュニケーション心理学	2*
			社会・集団・家族心理学	2*
			産業・組織心理学	2*
			消費者行動論	2*
			広告と消費の心理学	2*
			グループダイナミクス	2*
	臨床心理学領域	社会調査論	2*	
		社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)	2*	
		社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)	2*	
		質的研究法	2*	
		キャリアの心理学	2*	
		社会心理学調査演習Ⅰ	2*	
		社会心理学調査演習Ⅱ	2*	
臨床心理学概論	2			
障害者・障害児心理学	2*			
心理的アセスメント	2*			
健康・医療心理学	2*			
心理学的支援法	2*			
福祉心理学	2*			

国際コミュニケーション学部 心理社会学科			
科目区分	授業科目	単位数	
専門教育科目	展開応用科目	臨床心理学領域	司法・犯罪心理学 2*
		人体の構造と機能及び疾病 2*	
		精神疾患とその治療 2*	
		関係行政論 2*	
		心理演習 2*	
		心理実習 2*	
		公認心理師の職責 2*	
		発達心理学 2*	
		児童心理学 2*	
		青年心理学 2*	
		教育・学校心理学 2*	
		生涯発達心理学 2*	
	認知・神経科学領域	感情・人格心理学 2*	
	知覚・認知心理学 2*		
	学習・言語心理学 2*		
	神経・生理心理学 2*		
	現代社会科目	北陸の文化と社会 2*	
		国際関係学入門 2*	
		異文化間コミュニケーション 2*	
		文化資源学入門 2*	
		ことばと文化 2*	
		宗教学 2*	
		言語学入門 2*	
		国際関係史 2*	
		現代日本論 2*	
		経営組織論 2*	
		教育社会学 2*	
		家族社会学 2*	
環境社会学 2*			
国際社会学 2*			
中国の文化と社会 2*			
文化資源学(歴史・民俗) 2*			
文化資源学(美術・工芸) 2*			
文化資源学(史跡・名勝地) 2*			
文化資源学(世界遺産) 2*			
観光ビジネス論 2*			
現代アジア論 I 2*			
現代アジア論 II 2*			
現代アメリカ論 2*			
現代ヨーロッパ論 2*			
国際協力論 2*			
英語圏の文化と社会 2*			
マーケティング論 2*			
マーケットリサーチ論 2*			
英米文学史 2*			
海外研修 A 1*			
海外研修 B 1*			
短期海外研修 1*			
海外語学研修 A 2*			
海外語学研修 B 2*			
海外留学 A 6*			
海外留学 B 6*			
海外留学 C 6*			
海外留学 D 6*			

備考 \*は選択科目を示す。

医療保健学部

医療保健学部 医療技術学科		
科目区分	授業科目	単位数
一般教養科目	北陸大学の学び 1	
	自然科学概論 1	
	生命・医療倫理学 1	
	英語 1	
	医学英語 1	
	情報リテラシー 1	
	科学英語の基礎 1	
	食べ物と健康 1	
	薬とからだ 1	
	基礎ゼミナール I 1	
	基礎ゼミナール II 1	
	心理学 2*	
	哲学 2*	
	社会保障と福祉 2*	
	北陸の文化と社会 2*	
	スポーツ 1*	
	英会話 1*	
	日本史 2*	
	社会学 2*	
	法学(日本国憲法含む) 2*	
	データサイエンス 1*	
	生物学 1*	
	化学 1*	
	物理学 1*	
	数学 1*	
	海外研修 1*	
	専門基礎科目	医学概論 1
		解剖組織学 2
		解剖組織学実習 1
		生理機能学 2
		生理機能学演習 1
		生理機能学実習 1
		情報科学概論 1
		基礎微生物学 1
		生化学 1
		生化学実習 1
		応用数学 1
		機械工学(生体物理学) 1
		病理学 1
		医用工学概論 1
		医用工学概論実習 1
計測工学 2		
電気工学 I 1		
電子工学 I 1		
臨床免疫学 1		
臨床免疫学実習 1		
臨床薬理学総論 1		
公衆衛生学 1		
関係法規 1		
臨床検査学基礎演習 1*		
臨床工学基礎演習 1*		
医用機器学概論 2		
臨床一般検査学 1		
臨床一般検査学実習 1		
血液検査学 I 1		
血液検査学 II 1		
血液検査学実習 I 1		
検査機器総論 1		
検査診断学 I 2		
病理検査学総論 1		
放射線検査学 1		
輸血・移植検査学 I 2		
生化学検査学 I 1		
生化学検査学 II 1		
生化学検査学実習 1		
生体機能計測学 I 2		
生体機能計測学 II 2		
生体機能計測学実習 I A 1		
生体機能計測学実習 I B 1		

専門科目

共通科目群

医療保健学部 医療技術学科			
科目区分	授業科目	単位数	
共通科目群	生体機能代行装置学Ⅰ	2	
	生体機能代行装置学概論	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	1	
	専門職連携演習	1	
	地域チーム医療論	1	
	卒業研究Ⅰ	1	
	卒業研究Ⅱ	1	
	リハビリテーション学概論 ●	1*	
	災害と医療 ●	1*	
	細胞生物学 ●	1*	
	臨床心理学概論 ●	1*	
	画像解析学 ●	1*	
	臨床検査学コース科目群	遺伝子・染色体検査学 ★	1*
遺伝子・染色体検査学実習		1*	
医療安全管理学(臨床検査学)		1*	
医療安全管理学実習(臨床検査学)		1*	
寄生虫検査学(実習含む)		1*	
血液検査学実習Ⅱ		1*	
検査診断学Ⅱ		2*	
検査診断学Ⅲ		2*	
生体機能計測学Ⅲ		2*	
生体機能計測学実習ⅡA		1*	
生体機能計測学実習ⅡB		1*	
精度管理と品質保証		2*	
認知症の病態と検査 ★		1*	
病理検査学Ⅰ		1*	
病理検査学Ⅱ		1*	
病理検査学実習Ⅰ		1*	
病理検査学実習Ⅱ		1*	
輸血・移植検査学Ⅱ		1*	
輸血・移植検査学実習		1*	
臨床栄養学総論		1*	
臨床検査管理学Ⅰ		1*	
臨床検査管理学Ⅱ		1*	
臨床検査管理学Ⅲ		2*	
臨床微生物学Ⅰ		2*	
臨床微生物学Ⅱ		2*	
臨床微生物学実習Ⅰ		1*	
臨床微生物学実習Ⅱ		1*	
技能修得到達度評価(臨床検査学)		1*	
臨床実習(臨床検査学)		11*	
臨床検査学演習		2*	
臨床工学コース科目群		電気工学Ⅱ	2*
		電子工学Ⅱ	2*
		電気磁気学	1*
	システム工学Ⅰ	1*	
	システム工学Ⅱ ☆	1*	
	システム工学Ⅲ	1*	
	医用機械工学	1*	
	生体材料工学	1*	
	生体物性工学 ☆	2*	
	生体物性・材料工学Ⅱ	1*	
	医用機器安全管理学Ⅰ	2*	
	医用機器安全管理学Ⅱ	1*	
	医用機器安全管理学実習	1*	
	医用治療機器学ⅠA ☆	1*	
	医用治療機器学ⅠB	1*	
	医用治療機器学実習	1*	
	医用電気工学	1*	
	医用電気工学実習	1*	
	医用電子工学 ☆	1*	
	医用電子工学実習	1*	
	医用電気・電子工学特論	1*	
	医療安全管理学(臨床工学)	1*	
	看護学概論	1*	
	情報処理工学	1*	
	医療情報科学	1*	
	生体機能代行装置学Ⅱ	2*	
	生体機能代行装置学Ⅲ	2*	
	生体機能代行装置学Ⅳ	2*	

医療保健学部 医療技術学科			
科目区分	授業科目	単位数	
専門科目	臨床工学コース科目群	生体機能代行装置学実習Ⅱ	1*
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	1*
		臨床支援技術学	1*
		臨床医学総論Ⅰ	2*
		臨床医学総論Ⅱ	2*
		基礎生体計測学	1*
		手術・集中治療学	1*
		技能修得到達度評価(臨床工学)	1*
		臨床実習(臨床工学)	6*
		臨床工学演習	1*

備考 \*は選択科目を示す  
 選択科目のうち、  
 ☆は臨床検査学コース履修生の指定選択科目を示す  
 ★は臨床工学コース履修生の指定選択科目を示す  
 ●は共通選択科目を示す

医療保健学部 理学療法学科			
科目区分	授業科目	単位数	
一般教養科目	北陸大学の学び	1	
	生命・医療倫理学	1	
	スポーツⅠ	1*	
	スポーツⅡ	1*	
	情報リテラシー	1	
	データサイエンス	1*	
	心理学	2*	
	法学	2*	
	哲学	2*	
	社会学	2*	
	コミュニケーション論	2*	
	北陸の文化と社会	2*	
	日本史	2*	
	化学	1*	
	生物学	1*	
	数学	1*	
	物理学	1*	
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	医療英語	1*	
	基礎ゼミナールⅠ	1	
	基礎ゼミナールⅡ	1	
	海外研修Ⅰ	1☆	
	海外研修Ⅱ	1☆	
	教育学概論	2*	
	教育方法論	2*	
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ
解剖学Ⅱ			2
解剖学実習			1
生理学Ⅰ			2
生理学Ⅱ			2
生理学実習			1
運動学			2
運動学実習			1
人間発達学			2
リハビリテーション医学			2
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		整形外科学	2
		病理学	2
		臨床心理学	2
		精神医学	2
		内科学	2
		薬理学	2
		神経内科学	2
リハビリテーションの理念	栄養学	1	
	小児科学	2	
	画像診断学	1	
救急処置法	1		
リハビリテーション概論	2		
医療統計学	1		
チーム医療論	1		
地域包括ケアシステム論	1		

医療保健学部 理学療法学科			
科目区分	授業科目	単位数	
専門科目	療法学 基礎理学	理学療法概論	2
		基礎理学療法	2
		運動療法学	2
		運動療法学実習	1
		医療安全管理学	1
	理学療法管理	理学療法管理	2
	療法学 評価学	理学療法評価学	2
		理学療法評価学実習Ⅰ	1
		理学療法評価学実習Ⅱ	1
		理学療法評価学演習Ⅰ	1
		理学療法評価学演習Ⅱ	1
	理学療法治療学	物理療法学	2
		物理療法学実習	1
		義肢装具学	2
		義肢装具学演習	1
		日常生活活動学演習	1
		老年期障害理学療法学演習	1
		運動器障害理学療法学	2
		運動器障害理学療法学実習	1
		神経障害理学療法学	2
		神経障害理学療法学実習	1
		内部障害理学療法学	2
		内部障害理学療法学実習	1
		発達障害理学療法学演習	1
		予防理学療法学	2* *
	先進技術と理学療法学	2* *	
	療法学 地域理学	地域理学療法学	2
生活環境学		1	
地域理学療法学演習		1*	
臨床実習	臨床基礎実習	1	
	検査・測定実習	2	
	臨床評価実習	4	
	総合臨床実習Ⅰ	6	
	総合臨床実習Ⅱ	6	
総合科目	地域理学療法学実習	1	
	理学療法学研究法	1	
	総合理学療法学演習Ⅰ	1	
発展科目	総合理学療法学演習Ⅱ	2	
	卒業研究	2	
	スポーツ科学	2*	
	アスレチックリハビリテーション概論	2*	
	運動神経生理学	2*	
	バイオメカニクス	2*	
	トレーニング論	1	
	スポーツ障害理学療法学	2*	
	リハビリテーション工学	2*	
	東洋医学	2*	
	医用情報科学概論	2*	
	東洋医学治療学	2*	
	免疫・感染症学	2*	
	疾病予防と健康増進	1*	
	臨床薬学	1*	
	公衆衛生学	1*	
臨床生理学	2*		

備考 \*は選択科目、\*\*は選択必修科目、☆は自由科目を示す

別表2

学費

(単位 円・年額)

学部	学費	薬学部	国際コミュニケーション学部	経済経営学部	医療保健学部
入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
授業料	1,450,000	750,000	700,000	1,100,000	1,100,000
教育充実費	500,000	350,000	300,000	400,000	400,000
合計	2,150,000	1,300,000	1,200,000	1,700,000	1,700,000

備考 1. 留学生の学費は減免することがある。

別表3

教育職員免許状取得に関する修得単位数

学部	学科	免許教科	免許状の種類	大学において修得が必要とされる「教科及び教職に関する科目」の最低単位数
経済経営学部	マネジメント学科	保健体育	中学校教諭一種免許状	59
			高等学校教諭一種免許状	
		公民	高等学校教諭一種免許状	
経済学科	公民	高等学校教諭一種免許状		
		国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	

教育の基礎的理解に関する科目等の名称及び単位数

- ・経済経営学部マネジメント学科、経済学科
- ・国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科

科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○ 教育学概論	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○ 教職論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○ 教育社会学	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○ 教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童、児童及び生徒に対する理解	○ 特別支援教育	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○ 教育課程論	2	
	道徳の理論及び指導法	道徳教育論*	2	
生徒指導、教育的相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	○ 特別活動と総合的な学習の時間	2	
	特別活動の指導法			
	教育の方法及び技術	○ 教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	○ 生徒・進路指導論	2	
	進路指導の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	○ 教育相談	2	
	教育実践	○ 教育実習事前・事後指導 ○ 教育実習Ⅰ ○ 教育実習Ⅱ	1 2 2	中免のみ必修
	教職実践演習	○ 教職実践演習(中・高)	2	

○は免許状の取得する場合の必修科目

\*高一種免においては、「道徳教育論」を教育職員免許状施行規則に定める「大学が独自に設定する科目」として取り扱う

教科及び教科の指導法に関する科目の名称及び単位数

学部・学科等	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開講授業科目		備考
			授業科目	単位数	
経済経営学部 マネジメント学科	中一種免・高一種免(保健体育)	体育実技	○ スポーツ実習Ⅰ ○ スポーツ実習Ⅱ ○ スポーツ実習Ⅲ ○ スポーツ実習Ⅳ ○ スポーツ実習Ⅴ ○ スポーツ実習Ⅵ ○ スポーツ実習Ⅶ ○ スポーツ実習Ⅷ	1 1 1 1 1 1 1 1	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	○ 体育原理 ○ 運動動作学 ○ 運動心理学 ○ スポーツマネジメント ○ スポーツ社会学 ○ スポーツ栄養学 ○ コーチング学	2 2 2 2 2 2 2	
		生理学(運動生理を含む。)	○ 運動生理学 ○ 生命科学	2 2	
		衛生学及び公衆衛生学	○ 公衆衛生学	2	
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	○ 学校保健 ○ 救急処置 ○ 性教育 ○ 発育発達論	2 2 2 2	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 保健体育科教育法Ⅰ ○ 保健体育科教育法Ⅱ ○ 保健体育科教育法Ⅲ ○ 保健体育科教育法Ⅳ	2 2 2 2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教科及び教科の指導法に関する科目の名称及び単位数

学部・学科等	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開講授業科目		備考
			授業科目	単位数	
経済経営学部 マネジメント学科	高一種免(公民)	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学入門 ○ グローバルガバナンス ○ 刑法 ○ 民法1 ○ 民法2 ○ 民法3 ○ 政治学 ○ 国際政治学 ○ 行政学	2 2 2 2 2 2 2 2 2	2科目4単位以上選択必修
		「社会学、経済学(国際経済学を含む。)」	○ 社会学 ○ マクロ経済学 ○ ミクロ経済学 ○ 国際経済学	2 2 2 2	
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 哲学 ○ 倫理学 ○ 心理学	2 2 2	2科目4単位以上選択必修
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 公民科教育法1 ○ 公民科教育法2	2 2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教科及び教科の指導法に関する科目の名称及び単位数

学部・学科等	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開講授業科目		備考
			授業科目	単位数	
経済経営学部 経済学科	高一種免(公民)	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学入門 ○ グローバルガバナンス ○ 民法1 ○ 民法2 ○ 企業法 ○ 政治学 ○ 国際政治学 ○ 行政学	2 2 2 2 2 2 2	
		「社会学、経済学(国際経済学を含む。)」	○ 社会学 ○ マクロ経済学1 ○ ミクロ経済学1 ○ 国際経済学	2 2 2 2	
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 哲学 ○ 倫理学 ○ 心理学	2 2 2	2科目4単位以上選択必修
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 公民科教育法1 ○ 公民科教育法2	2 2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教科及び教科の指導法に関する科目の名称及び単位数

学部・学科等	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開講授業科目		備考
			授業科目	単位数	
国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科	中一種免・高一種免(英語)	英語学	○ 英語学概論 ○ 言語学入門 ○ 音声学 ○ Basic Grammar I ○ Basic Grammar II ○ Advanced Grammar I ○ Advanced Grammar II	2 2 2 1 1 1 1	
		英語文学	○ 英米文学史	2	
		英語コミュニケーション	○ Basic Reading I ○ Basic Reading II ○ Advanced Reading I ○ Advanced Reading II ○ Basic Writing I ○ Basic Writing II ○ Advanced Writing I ○ Advanced Writing II ○ Practical Communication I ○ Practical Communication II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		異文化理解	○ 英語圏の文化と社会 ○ 現代アメリカ論	2 2	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 英語科教育法Ⅰ ○ 英語科教育法Ⅱ ○ 英語科教育法Ⅲ ○ 英語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定められる科目

学部・学科等	免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開講授業科目		備考
		授業科目	単位数	
経済経営学部 マネジメント学科	日本国憲法	○ 日本国憲法	2	
	体育	スポーツ科学概論	2	これら2科目より 1科目選択必修
		スポーツ1	1	
		スポーツ2	1	
外国語 コミュニケーション	英語1	1		
	英語2	1		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	○ 情報リテラシー	2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定められる科目

学部・学科等	免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開講授業科目		備考
		授業科目	単位数	
経済経営学部 経済学科	日本国憲法	○ 日本国憲法	2	
	体育	スポーツ科学概論	2	これら2科目より 1科目選択必修
		スポーツ1	1	
		スポーツ2	1	
	外国語 コミュニケーション	○ 英語1	1	
○ 英語2		1		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	○ 情報リテラシー	2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定められる科目

学部・学科等	免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開講授業科目		備考
		授業科目	単位数	
国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科	日本国憲法	○ 日本国憲法	2	
	体育	スポーツ I	1	これら3科目より2科目必修
		スポーツ II	1	
		スポーツ科学	2	
	外国語 コミュニケーション	Basic Speaking I	1	これら4科目より2科目必修
Basic Speaking II		1		
Advanced Speaking I		1		
Advanced Speaking II		1		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	○ 情報リテラシー	2	

備考 ○は免許状を取得する場合の必修科目